

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4590100790		
法人名	社会福祉法人 徳榮会		
事業所名	グループホーム 共生		
所在地	宮崎県宮崎市清武町加納甲1317番地		
自己評価作成日	平成30年12月10日	評価結果市町村受理日	平成31年2月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/45/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JivvosyoCd=4590100790-00&amp;PrefCd=45&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/45/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JivvosyoCd=4590100790-00&amp;PrefCd=45&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会
所在地	宮崎市原町2番22号宮崎県総合福祉センター本館3階
訪問調査日	平成31年1月22日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の皆様と共に生きるを基調に、地域の方と交流を図る事で、入居者様が馴染みのある地域で安心した生活を送れるよう支援しております。また、地域と情報を共有する事で、共生の取組や入居者様についても周知して頂いております。地域、医療、ご家族様と密に連携を図る事が出来ており、協力を得られる環境作りが出来ております。食事に関しては、全て手作りで提供している為、その日の体調に合わせた食事時間や形態等、対応する事が出来ております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

隣接する有料老人ホームと協力体制のもと、行事や地域との交流に参加し、利用者の活動の幅を広げている。一人ひとりの能力を生かせるよう調理、洗濯、掃除、花の水やりなどホームでの役割を持ち、症状の改善や安全につながるようなケアの実践に取り組んでいる。周辺の散歩、地域のサロンへの参加、買い物などの日常的な外出、家族等の協力を得ての夕食、年間計画の外出など、戸外へ出ることを大切にしている。利用者の嗜好を尊重した手作りの食事を提供し、家族的な雰囲気作りに努めている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		



## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の皆様と共に生きるを基調に、安心と希望のある豊かな福祉文化の推進という理念の下、支援に取り組んでおります。新人職員が入社した時等、勉強会で理念の共有が図れるよう努めております。	法人全体の理念をホームの理念として掲げ、その理念を共有して実践に努めている。管理者はホーム独自の分かりやすい理念を作成したいとの思いがあり、検討中である。	地域密着型サービスの意義をふまえたホーム独自の理念の全職員参加による作成と、その理念の共有と実践に期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回、上加納公民館で実施されているサロンに参加しております。地域の皆様と運動や輪投げ、そうめん流しに参加させて頂く等、顔馴染みになれるよう努めております。散歩時等、地域の方からお声をかけて頂く事が増えて参りました。	地域のサロンに参加し、法人の理学療法士の指導の下、地域の方と運動等を楽しむ支援をしている。また、地域の小・中学校が隣接の施設を訪問する際は一緒に交流し、地域の一員として日常的に交流するように努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	上加納公民館でのサロン時に、グループホームの説明や、必要時は介護保険の質問にも答えられるようお話をしております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ヒヤリハットや事故報告を行う事で、地域の方や御家族の方の意見を取り入れた支援を行う事が出来ております。参加して下さっている方には、積極的に意見して頂いております。	会議では事故等の発生状況、感染症対策、ホームでのケアの取組について報告している。出席者からは地域の行事情報の提供があり、利用者の参加につながっている。家族の意見も運営に役立てるよう取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所等の提出書類は、顔を覚えて頂けるよう必ず手渡しし、相談等しております。又、運営推進会議にも参加して頂いたり、地域包括支援センター主催の勉強会にも参加し、関係を築けるよう努めております。	管理者は報告に関して、市担当者に文書を提出するだけでなく、口頭で説明したり、月1回は市担当課に出向き情報を伝え、市主催の研修会に参加するなど協力関係を構築するよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年間の勉強会のテーマにも入れており、介護職の身体拘束への周知徹底が出来るよう努めております。	職員会では、年に2回身体拘束をしないケアをテーマに研修を行っている。新任職員は、法人の事務長がマニュアルに沿って研修を行い、全職員が身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会で虐待について学ぶ機会を設けております。又、御家族が面会に来られた際に、環境や言葉遣いについておかしき所を聞かせて頂く事で、職員間では気付けないような事でも、早期に改善出来るよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会で権利擁護について学ぶ機会を設けております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、必ず管理者と計画作成者2名で説明させて頂いております。又、管理者不在時に質問があってもお答え出来るよう、勉強会で契約書や重要事項説明書の内容が理解出来るよう説明を行っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議以外に、来設時に時間を設け、御家族からの意見や要望をお聞き出来るよう努めております。	運営推進会議には家族が3～5名出席し、要望や提案を聞いている。また、面会の機会を活用して意見交換をし、出された意見を運営に反映させるよう取り組んでいる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務内や勉強会時に、意見や案を聞く機会を設け、必要時は代表者に伝えるようにしております。	職員会では、入浴の回数などケアサービスの提供と職員の業務量について議論している。管理者と職員は日常的に意見交換しており、管理者は職員の意見をホームの運営に反映するよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課とストレスチェックを実施しており、職員の能力に応じた評価を行っております。職員と話す機会を設け、自信をつけて頂く事で、やりがいに繋げていけるよう努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の勉強会で担当職員がテーマを決め発表する事で、理解を深められるよう努めております。又、外部研修で学びたい事がある時は、管理者に相談するように伝えております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修に参加する事でネットワーク作りを行い、支援に繋がれるよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前には必ず見学をして頂いております。不安な事や要望等をお聞きし、不安の軽減を図れるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前には必ず見学をして頂いております。不安な事や要望等をお聞きし、不安の軽減を図れるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	契約時に御本人と御家族の要望や不安な事等を把握し、安心した生活を送れるよう努めております。又、担当職員は御家族との連絡を密にとり、信頼関係の構築に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として洗濯物等の家事を一緒にして頂き、知恵や工夫を教えて頂いております。又、一緒に作業をする事で、世間話や不安な事を話す機会を設け、信頼関係の構築に努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	運営推進会議や来設時には、最近の状態をお伝えする時間を設けております。遠方の御家族にはこまめに連絡をし、お話して頂く機会を設けております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族にご協力して頂き、昔一緒に住んでいた家や好きなお店へ出掛けられるよう努めております。	馴染みの家や店に出掛ける、正月や盆に自宅に帰るなど、関係継続を支援している。隣接の施設のショートステイに知人・友人を訪ねて交流する機会を設けるなど、人との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別にお話をする機会を設け、食事席や座る位置を決めております。又、入居者様同士で交流出来るよう、個別活動の時間は席順を変える等して対応しております。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方にも、行事のお知らせをさせて頂いたり、その後の様子をお聞きする事で、関係性を保てるよう努めております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御家族や御本人から生活歴を聞き、希望を伺っております。買い物や外出等の希望がある場合は、可能な範囲で対応させて頂いております。	1年に1回、利用者の生活歴を再確認してケアの参考にしている。困難な場合は、表情や自己決定しやすいように提示して選択をしてもらうなど本人本位に対応するよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族や御本人から生活歴を聞き、食事の仕方や就寝時間等の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや勉強会時に、担当職員から送る機会を設け、現状の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御家族が来設した際、ご要望をお聞きする時間を設け、把握に努めております。又、計画作成者から介護職へ気付きや案について聞き取りを行う事で、反映出来るよう努めております。	面会時に家族と話し合いの場を設けている。担当者(担当制)から介護リーダー、管理者と日常生活上の活動を伝え、介護計画作成者と話し合いをしている。モニタリングを行い、現状に即した介護計画を作成するよう取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎月担当職員にて評価を行う事で、見直しに活かせるよう努めております。又、日々の記録では、御本人の発言や状態を詳しく記録する事で、ケアに活かせるよう努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新しいニーズについては、どのように工夫したら実現出来るのかを考え、可能な限り対応しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進委員会や上加納公民館でのサロンの際に、地域の情報の把握に努めております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を基本とし、希望がある場合は他医療機関への受診をして頂いております。御本人や御家族の希望を優先して対応しております。	継続してかかりつけ医に受診できるよう支援している。受診は基本的には家族が同行し、ケースによっては職員が同行している。訪問診療、訪問看護、歯科衛生士による口腔衛生指導等、適切な医療を受けられる体制づくりに努めている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週担当職員が訪問看護に相談したい事を記録し、その日出勤の職員が代表して伝える事で、アドバイスを頂いております。又、状態変化や異常時は、密に連絡をとる事で、訪問看護の指示の下、ケアに繋げる事が出来ております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者が面会や医療連携室と連携をとりながら、関係性を構築出来るよう努めております。又、カンファレンスに参加させて頂くよう努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、重度化した場合や終末期についてのご希望、ご要望をお伺いしております。又、担当者会議等の際にも再確認させて頂いております。	「重度化した場合における対応に係る指針」を作成し、契約時に重度化や終末期に関する方針について説明している。担当者会議で段階的に家族と話し合い、主治医や訪問看護等と連携を取りながら対応するよう努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	隣接している施設と年1回救急講習を実施しております。又、マニュアルを作成し、周知徹底できるよう努めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間帯、日勤帯を想定した避難訓練を実施しております。震災時は、民生委員の方、隣接している施設職員と連携出来るようにしております。	避難訓練を年に2回実施している。近隣に民家はないが、近くの民生委員や隣接の施設職員の協力体制の構築に努めている。飲料水や食料の備蓄や簡易トイレを準備している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けの仕方や声のトーン等、職員間で指摘出来るような関係性の構築に努めております。	先輩として利用者を尊重し、丁寧な言葉かけに努めている。トイレ誘導は特に対応に配慮しており、「トイレ」「便所」「お手洗い」とそれぞれ利用者に分かりやすい表現をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	洋服はなるべく御本人が選択出来るよう、入浴の準備を一緒に行う等の取り組みをしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れは基本としてありますが、入浴や活動、食事等、体調やご希望に応じた臨機応変な対応をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	モーニングケアや入浴の準備時、なるべく御本人を選んで頂いております。散髪については、ご希望の入居者は、偶数月に隣接する施設にて、美容室の方に対応して頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	御本人や御家族へ聞き取りを行い、嗜好を把握し、毎食手作りにて提供しております。又、配膳や下膳、皿洗い等を手伝って頂き、一人ひとりの力が活かせるよう努めております。	利用者の嗜好を尊重した献立にし、ホームの台所で職員が毎食手作りの食事を提供している。職員は介助や見守りをしながら、楽しい食事になるよう支援している。準備や食器洗いなど利用者が活動できる機会になっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人一人の嚥下状態や嗜好を把握し、それに合わせた食事の提供に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めております。又、毎月の口腔衛生指導にて、歯科医師又は歯科衛生士に口腔ケアの方法や口腔トラブルについての指導をして頂いております。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表への記録や、職員間での情報交換を行う事で、排泄パターンの把握に努めております。入居者様の能力に応じて、なるべくトイレで排泄出来るよう努めております。	排せつチェック表や夜間睡眠状況を参考に、一人ひとりの排せつパターンを把握して、トイレでの排せつを支援している。おむつ使用であってもトイレ誘導し、パット使用もサイズを薄型に変更するなど排せつの自立支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事を作る際、野菜を多めに使用するよう、徹底しております。又、個別活動時に運動をする事で、便秘予防に努めております。それでも便秘が解消されない方については、訪問看護、医師と相談し、緩下剤にて対応しております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日は固定しておりますが、週3回の入浴を予定しております。体調が優れない時や外出時などは、臨機応変に曜日を変更して対応しております。又、個浴ですので、対話しながら、くつろいだ気分で入浴出来ております。	入浴は週3回を基本としているが、利用者の希望に合わせて柔軟に対応している。入浴を拒むケースでは足浴を行ったり、希望者には同性介助をするなど配慮している。特殊浴槽の設備も完備している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室で休みたいなど御本人から希望がある時は、その都度居室へ誘導し、休んで頂いております。一人になると不安になる方に関しては、落ち着くまで寄り添い、傾聴を心がけております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々のファイルに薬情を綴じ、全職員が把握出来るようにしております。服薬時は、ダブルチェックする事で、誤薬予防に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	御家族や御本人に聞き取りを行い、生活歴や嗜好、趣味の把握に努めております。それを活かした活動を、個別にて取り組んでおります。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	必要な物があれば、極力御本人と近くのお店へ買い物へ出掛けられるよう努めております。ドライブの時は、民生委員の方に協力を仰げるよう信頼関係の構築に努めております。地域での催し物の際には、御家族の協力の下、出掛けられるよう支援しております。	ホームの周辺を散歩に出かけ、地域住民と挨拶したり、季節を体感できるよう支援している。外食等、利用者の希望に沿って外出できるよう家族の協力を得ている。初詣や花見など年間計画のもと、外出支援に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭に関しては、金庫にて保管しておりますが、買い物支援や外出時は、御本人へお渡ししております。会計時も、なるべく御自分でお支払して頂くよう支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があれば、その都度対応させて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースに関しては、天井が高く、開放的な空間作りを行っております。廊下には、入居者様の写真や作品を展示しております。	居間、台所、事務室がオープンスペースになっており、利用者と職員がコミュニケーションを取りやすいようテーブルやソファを配置している。室温や照明は快適な空間になるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにはソファを設置し、気の合った入居者様同士で談笑出来るよう支援しております。食事席でも、個別での会話を楽しんで頂けるよう支援しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居時に、自宅で使用されていた馴染みのある物を持ってきて頂けるよう、話をしております。持参された物は、居室に配置させて頂いております。	テレビや馴染みの小型の家具などが持ち込まれ、居室の安全性にも配慮し、居心地良く過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリーになっており、トイレや廊下に関しては、自動で点灯するようになっております。トイレの水洗は、あえて手動にする事で、自分で流して頂けるよう支援しております。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容